

科目番号	科目名	担当者名	教養・専門 資格・教職	単位数	選択・必修	開講年次 ・時期
L2	社会学 Sociology	堀田 裕子	教養	2	選択	1年秋
科目の概要						
<p>私たちは生まれた時から「社会」の影響を受けており、だからこそ人間として生きることができると言っても過言ではありません。社会学はその「社会」を対象とする学問です。しかし「社会」とは一体何でしょうか。私たちは何を学んでいけばいいのでしょうか。重要なのは、「社会」とは抽象的なものではなく、あなたや私を含む人間たちのことだということです。その意味で、社会学は人間についての学問なのです。</p> <p>「社会学する」ことのおもしろさをぜひともみなさんと共有したいと思います。</p>						
学修内容			到達目標			
自己・他者・社会を考えるための基礎を身につける。 身につけた基礎を具体的な問題に適用する。 社会のなかに問題を見出し、その問題性を学ぶ。			社会学の基本的な概念を説明することができる。 実際の社会事象に諸概念を適用することができる。 社会問題を見出し、その解決のための考察ができる。			
学生に発揮させる社会人 基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例				
前に踏 み出す 力	主体性	各回の「予習・復習」をおこない、講義に臨むことができる。 新聞やテレビニュースを観て、現代社会の諸問題にアンテナを張りめぐらしておくことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	授業内容のすべてがその場で理解できなくても、理解できなかった点を明確にしつつ、最後まで学修することができる。				
考え抜 く力	課題発見力	毎回のテーマのなかで、何が、どのような意味で、課題として考えるべきものであるかを見出すことができる。				
	計画力					
	創造力	授業中に説明された理論や概念に基づき、さまざまな社会事象に適用したり、それに対する自分の考えを展開したりすることができる。				
チーム で働く 力	発信力	授業中の質問 回答やコメントペーパーのなかで、自分の考えをわかりやすく話したり書いたりすることができる。				
	傾聴力	ただ「聞く」のではなく、教員が強調する点にも留意し配布プリントにメモを取りながら「きき」、理解できなかった点や疑問点を整理することができる。				
	柔軟性	自分とは異なる考え方や意見に対して、その内容をきちんと理解したうえで、賛同したり批判したりすることができる。				
	状況把握力					
	規律性	下記のルールを守り、他の受講生と教員とで作り上げる授業の秩序を乱さないことができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<p>教科書：使用しません。 参考書：必要に応じて講義中に紹介します。 教科書・参考書とは別に、毎回プリントを配布します。このプリントが教科書・ノート代わりとなるでしょう。</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連：「地域社会学」、「都市社会学」、「社会ネットワーク論」、「スポーツ社会学」、「エスニシティ論」、「社会活動論」、「現代家族論」、「ジェンダー論」、「福祉社会学」、その他、社会調査関連科目など。 本学部で取得できる資格：教職(高等学校教諭一種免許状 公民)(必修)</p>						
学修上の助言			受講生とのルール			
それぞれの専門用語には、その言葉で表さなければならない意義があります。物おじせず、ひとつひとつ理解していくことを心がけましょう。 配布プリントは括弧内を埋めるだけでなく、教員が口頭で話す重要な内容も記しましょう。そのために、講義を終始きちんと「きく」必要があります。			<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話・スマートフォンはカバンに入れておくこと。 ・配布プリントは毎回持参すること。 ・遅刻・欠席、および私語は厳禁。 			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)実技・口述試験	70	①	✓	授業中に出てきた概念について、自分の言葉で説明できるか。 授業で学んだ見方・考え方を、身近な社会の問題を考えるうえで用いることができるか。 ある社会事象のなかに問題を見出し、それがどういう意味で問題なのかを説明し、その解決に導く考察ができるか。		
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト			①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		20		①	✓	授業中に出てきた概念について、適切に説明できるか。 授業で学んだ見方・考え方を、身近な社会問題に適用できるか。 社会のなかに問題を見出し、その問題性を説明し解決に導く考察ができるか。
						②	✓	
						③	✓	
						④		
						⑤		
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)				①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓	毎回出席し、授業内容を配布プリント上に記述しているか。 (実行力)最後まであきらめず受講することができるか。 (課題発見力)授業中の質問・回答やコメントペーパーにおいて、論点を踏まえた発言・記述ができるか。 (創造力)授業中の質問・回答やコメントペーパーにおいて、講義内容をなぞるのではなく、自分の考えを展開できるか。 (発信力)授業中の質問・回答やコメントペーパーにおいて、自分の考えをわかりやすく話したり書いたりすることができるか。 (傾聴力)教員の話のなかで、強調したポイントを理解できるか。 (柔軟性)自分とは異なる考え方に対して、頭から否定せず、論理的に批判できるか。 (規律性)受講ルールに関して注意を受けずに最後まで受講できるか。		
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>筆記試験・社会人基礎力(学修態度)・その他(ミニペーパー)の合計得点が90点以上を「秀」、80点以上を「優」とします。</p> <p>「秀」は、講義内容の十分な理解とともに、それを具体的な社会問題に適用して考え、なおかつ自身の考えを説得的に論じられること、「優」は、講義内容の十分な理解とともに、それを具体的な社会問題に適用して考えられることを基準とします。</p>	<p>筆記試験・社会人基礎力(学修態度)・その他(ミニペーパー)の合計得点が70点以上を「良」とします。</p> <p>「良」は、講義内容の十分な理解とともに、それを自分の言葉で論じられることを基準とします。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	「社会学する」ということ イントロダクション 二者関係と三者関係のモデルを用いて「社会」について説明します。「社会」の意味を、柔軟に理解してください。	講義(90分)	二者関係と三者関係のモデルを理解しましょう。	(予習)シラバスを読み、講義の趣旨を理解してください。 (復習)プリントとノートを読み直し、講義内容を現代社会のなかのどのような具体的な問題に適用できるか考えましょう。	60 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
2週 /	社会化論 わたしにとって身近な社会(1) 自己が形成される「社会化」というプロセスについて説明します。ここでは、社会学的な考え方が凝縮されています。	チェックシートと答え合わせ(15分) 講義(75分)	C.H.クーリーの「鏡に映った自己」、およびG.H.ミードの自我論をよく理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しをおきましょう。チェックシートで出題します。 (復習)プリントとノートを読み直し、子どもの社会化を取り巻く現状がどのようなものであるのかを調べたり考えたりしましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
3週 /	ドラマトルギー論 わたしにとって身近な社会(2) 私たちの日々の生活を演劇(ドラマ)のようなものとして考える「ドラマトルギー」という考え方について学びます。	チェックシートと答え合わせ(15分) 講義(75分)	「地位 役割」が私たちの自己および社会生活にもたらす影響について理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しをおきましょう。チェックシートで出題します。 (復習)プリントとノートを読み直し、自分がこれまで所属してきた集団とそこでの地位・役割について振り返り、それがどのようなものであったのか考えましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
4週 /	行為論 わたしにとって身近な社会(3) 私たちが何気なく「する」ことも、社会の影響を受けているかもしれません。こうした社会的行為についての考え方を理解しましょう。	チェックシートと答え合わせ(15分) 講義(75分)	「行動」と「行為」の違い、M.ウェーバーの「行為の四類型」を中心に、理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しをおきましょう。チェックシートで出題します。 (復習)プリントとノートを読み直し、朝起きてから夜寝るまでに自分がおこなう行為について、それぞれのどこに社会性があるのか考えましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
5週 /	集合体論 ひとの集まりとその性質(1) 「群れ」と言い表わされるような人びとの集まりにも社会性があります。「群集」、「大衆」など言い表わされる、さまざまな人びとの集合体を学びます。	チェックシートと答え合わせ(15分) 講義(75分)	「群集」と「大衆」を中心に、それらがどのような性質をもつ集合体なのかを理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しをおきましょう。チェックシートで出題します。 (復習)プリントとノートを読み直し、ニュースなどを見て、具体的な集合行動の事例を集め、その問題性を考えましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
6週 /	集団論 ひとの集まりとその性質(2) 社会学には、集団に関する議論がたくさんあります。誰がどんな理由でどのように類型しているかに注目してください。	チェックシートと答え合わせ(15分) 講義(75分)	F.テンニース、R.M.マッキーヴァーの集団類型とその観点を理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しをおきましょう。チェックシートで出題します。 (復習)プリントとノートを読み直し、自分の身の回りの集団について授業で習った類型を用いて分類し、それぞれの問題性について考えましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
7週 /	組織論 ひとの集まりとその性質(3) 規模の大きな集団およびそれに適用される仕組みである「組織」について学びます。とくに「近代官僚制」の特徴とその逆機能を理解してください。	講義(70分) ミニペーパー(20分) これまで授業中に説明した議論をふまえ、読み手が納得するように、自分自身の考えを書く。	F.テイラーの「科学的管理法」とそれへの諸批判を理解しましょう。	(予習)第2回から第6回までのポイントを、レジュメとノートを参照し整理しておきましょう。 (復習)プリントとノートを読み直し、家族の勤務先の話や聞いた自分のアルバイト先のことを考えながら、良い組織はどうあるべきかについて考えてみましょう。	120 60	主体性 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
8週 /	支配の諸類型 権力という視点(1) M.ウェーバーによる支配論を中心に、非対称的な人間関係について考えていきます。支配関係のもつマイナス/プラスの両面を考えることが大切です。	チェックシートと答え合わせ(15分) 講義(75分)	M.ウェーバーによる権力の定義と「支配の三類型」をしっかりと理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しをおきましょう。チェックシートで出題します。 (復習)プリントとノートを読み直し、家族、学校、アルバイトなどのなかに見出せる支配関係や権力について考え、そのメカニズムや正当性について考えてみましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性

回数	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	象徴的暴力論 権力という視点(2) P.ブルデューによる象徴的暴力論を説明します。とくに学校および家庭における教育、およびそれのもたらす諸問題について考えます。	チェックシートと答え合わせ(15分) 講義(75分)	P.ブルデューの「資本」の概念、およびその再生産について、理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しておきましょう。チェックシートで出題します。 (復習)プリントとノートを読み直し、自分が経験したこれまでの教育のなかで、「象徴的暴力」に相当するものはなんであったのか、考えましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
10週 /	フーコーの権力論 権力という視点(3) 近代的権力として、M.フーコーの権力論を中心に解説します。知らぬ間に身体に浸みこむ可能性のある主体なき権力、その強大さを理解しましょう。	チェックシートと答え合わせ(15分) 講義(75分)	M.フーコーの言う「パノプティコン」の仕組みとそこから生じる権力の特性について、しっかり理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しておきましょう。チェックシートで出題します。 (復習)プリントとノートを読み直し、「パノプティコン」のようなかたちで作動する権力について、具体的事例を集め、その問題性を考えましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
11週 /	社会病理 近代社会への問い(1) 自殺や犯罪といった社会病理について、E.デュルケムの議論を中心にみていきます。「社会の」病理という捉え方が重要です。	チェックシートと答え合わせ(15分) 講義(75分)	E.デュルケムの「自殺の三類型(四類型)」について、しっかり理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しておきましょう。チェックシートで出題します。 (復習)プリントとノートを読み直し、「自殺死亡統計」などを参照しながら、自殺の原因とその解決策について考えましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
12週 /	労働と遊び 近代社会への問い(2) 仕事は苦痛？遊びは楽しい？ここでは「労働」と「遊び」に関する社会学的研究を紹介し、通常の考えから脱する必要があります。	チェックシートと答え合わせ(15分) 講義(75分)	K.マルクスの「疎外」概念と、R.カイヨワやJ.ホイジンガによる遊び論を理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しておきましょう。チェックシートで出題します。 (復習)プリントとノートを読み直し、労働が自己充足的行為であるような事例、遊びが手段的行為であるような事例を集め、その問題性を考えましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
13週 /	マクドナルド化する社会 現代社会への問い(1) 高度に合理的な社会がもたらすさまざまな影響について、G.リッツァーの議論を題材に考えていきます。自分自身の感覚にも敏感である必要があります。	チェックシートと答え合わせ(15分) 講義(75分)	「マクドナルド化」とはどのような現象を指し、どこに問題点があるのかを、しっかり理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しておきましょう。チェックシートで出題します。 (復習)プリントとノートを読み直し、身近な「マクドナルド化」の例を集め、その問題性を考えましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
14週 /	リスク社会 現代社会への問い(2) 科学技術と社会との関わりについて、U.ベックのリスク社会に関する議論を中心にみていきます。	講義(70分) ミニペーパー(20分) これまで授業中に説明した議論をふまえ、読み手が納得するように、自分自身の考えを書く。	科学技術のあり方について、批判的視点から考えることができるようにしましょう。	(予習)第11回から第13回までのポイントを、レジュメとノートを参照し整理しておきましょう。 (復習)プリントとノートを読み直し、科学が正しいものであるとは限らない事例を集め、その問題性を考えましょう。	120 60	主体性 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
15週 /	社会的身体 現代社会への問い(3) ピアスの孔をあけるのはなぜ？自分の体は自分のものか？これらは「社会的身体」についての問いです。最後は、まとめかえて、社会と身体との関係について考えていきます。	講義(70分) 質疑応答(20分) 自分がどこを理解できていなかったかを的確に見出し、質問する。	身体を社会科学の観点から学ぶことの意義を理解しましょう。	(予習)これまでのレジュメと資料を見直し、分からないところを明確にしておきましょう。 (復習)プリントとノートを読み直し、日常のなかの「身体変工」の事例を集め、その問題性を考えましょう。	90 120	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力
⑨柔軟性 ⑩情況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力